

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	メンタルヘルスマネジメント		学年時期	2年次 前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師(実務経験有)					
科目目標	メンタルヘルスの概念を理解し、ストレス社会における勤労者の心の健康を支えるためのセルフケアスキルを習得する。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	現代社会におけるメンタルヘルス 看護師特有のストレス ・バーンアウト…バーンアウト尺度など ・アディクション(嗜癖・依存) ストレス関連障害			講義	非常勤講師
2	2	自分と対話する 自分の価値観と自己開示			講義	非常勤講師
3	2	セルフケアスキル リフレーミング 妥協と未完了			講義	非常勤講師
4	2	プラス思考の回路を作る			講義	非常勤講師
5	2	不安やストレスがあるときは			講義	非常勤講師
6	2	セルフケアスキルの実際 心のもやもや対処法			講義 演習	非常勤講師
7	2	実技・ロールプレイ・相互コーチング			講義・演習	非常勤講師
8	1	終了試験			試験	
評価方法		筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		講師持参資料				
参考文献						
備考		勤労者の心の健康を支えるための理論と方法を理解し、働く自分の心身の健康を守るスキルを学ぶ。心理学・社会学やコミュニケーション技術などの学びを活用して授業に臨んでください。				

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	保健医療福祉システム論		学年時期	2年 後期		
担当講師 (実務経験)	1 保健師(行政)					
	2 大学病院 医師（小児在宅医療支援センター）					
	3 社会福祉士(地域包括支援センター)					
	4 専任教員					
科目目標	既習(保健医療論・公衆衛生・社会福祉・人間と法律、地域・在宅看護概論等)の知識を活用し、対象に必要な資源の利用方法を総合的に理解することができる。					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	2	全ての国民の健康を支える保健医療福祉体系		講義	4	
2	2	事例から考える成人領域の保健医療福祉		講義・GW	4	
3	2	事例から考える老年領域の保健医療福祉		講義・GW	3	
4	2	介護保険制度のしくみと利用手続き 地域包括ケアシステム		講義	3	
5	2	事例から考える精神領域の保健医療福祉		講義・GW	4	
6	2	事例から考える母性領域における保健医療福祉		講義・GW	1	
7	2	事例から考える小児領域における保健医療福祉		講義・GW	2	
8	1	終了試験		試験	1・2・3・4	
評価方法		終了試験の成績(1・2・3・4の合計点=100点満点)と課題提出・出席状況・参加態度をあわせて総合的に評価する				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		医療福祉総合ガイドブック NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会編集 医学書院				
参考文献						

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	人間と法律		学年時期	1年次後期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師(大学講師)					
科目目標	日本国憲法に定められている基本的人権を遵守し、人間の生命に関係する医療に携わる人々の資格や業務内容が法律で厳格に規定されている事を学び、人々の健康を守り、与えられた職責を正しく遂行するための看護関係法令について理解する					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	人間と法律を学ぶためにあたるオリエンテーション			講義	非常勤講師
2	2	法とは何か。法の概念。衛生法。厚生労働行政のしくみ			講義	非常勤講師
3	2	法条文の読み方。保健師助産師看護師法の業務			講義	非常勤講師
4	2	保健師助産師看護師の構造と附属法令			講義	非常勤講師
5	2	看護師免許。看護師籍の登録。看護師免許の要件			講義	非常勤講師
6	2	免許の取り消し。業務の停止と再免許			講義	非常勤講師
7	2	看護師国家試験受験資格の基本的要件・受験手続			講義	非常勤講師
8	2	看護師学校養成所。看護師の業務。看護師の研修			講義	非常勤講師
9	2	看護師の業務。医療過誤・罰則			講義	非常勤講師
10	2	保健師助産師看護師法の沿革			講義	非常勤講師
11	2	看護師等の人材確保の促進に関する法律			講義	非常勤講師
12	2	医療法の概要。医療法の目的。医療提供の理念			講義	非常勤講師
13	2	医療提供施設。医療に関する選択の支援			講義	非常勤講師
14	2	医療の安全の確保。開設の規制。病院の管理・人員・構造設備			講義	非常勤講師
15	2	診療に関する記録。病院の監督。医療提供体制の確保。病床の機能分化			講義・試験	非常勤講師
評価方法		レポートなどの提出・受講態度等により評価する。				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度（4） 看護関係法令 医学書院 看護行政研究会監修：看護六法 新日本法規				
参考文献						
備考		この授業は医事法に関する授業です。医事法は患者ないし国民の生命や健康を保全するための新しい分野である。その対象は諸々の医療制度をはじめとして、医師・患者関係、医療事故、さらに生殖医療、医療の停止、移植医療、がん告知など法と医の倫理の領域にも及んでいる。このように医事法の対象領域は広範に及んでいるが、この授業ではあまり範囲を広げないで、上記の講義を行う予定である。なお、この授業では、なじみのない法律用語や判決文が登場するが、粘り強く勉強して欲しい。また医事法を理解するためには看護学の授業は欠かせない。				

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	公衆衛生学		学年時期	1年次後期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師					
科目目標	人々の健康を増進し、健康な社会を実現するためにはどのような制度や組織活動が望ましいか、公衆衛生活動の特性を理解する					
回数	時間	授業内容		授業方法	担当講師	
1	2	公衆衛生の基礎		講義	非常勤講師	
2	2	保健統計		講義	非常勤講師	
3	2	疫学		講義	非常勤講師	
4	2	日常生活と健康		講義	非常勤講師	
5	2	社会生活と健康		講義	非常勤講師	
6	2	ライフスタイルと健康		講義	非常勤講師	
7	2	国際保健		講義	非常勤講師	
8	2	まとめ		講義	非常勤講師	
9	1	終了試験		試験		
評価方法		筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する				
評価基準		60点以上で合格　60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		鈴木庄亮：シンプル公衆衛生学　南江堂				
参考文献		国民の動向・厚生指標　財団法人厚生統計協会				
備考						

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	30
授業科目	社会福祉		学年時期	2年次後期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師(社会福祉士)					
科目目標	社会福祉・社会保障について学び、社会資源の活用方法を理解する。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	社会保障制度と社会福祉			講義・GW	非常勤講師
2	2	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向			講義	非常勤講師
3	2	医療保障			講義	非常勤講師
4	2	医療保障			講義	非常勤講師
5	2	介護保障			講義・GW	非常勤講師
6	2	介護保障			講義	非常勤講師
7	2	所得保障			講義	非常勤講師
8	2	公的扶助			講義	非常勤講師
9	2	社会福祉の分野とサービス			講義	非常勤講師
10	2	社会福祉の分野とサービス			講義	非常勤講師
11	2	社会福祉実践と医療・看護			講義	非常勤講師
12	2	社会福祉実践と医療・看護			講義	非常勤講師
13	2	社会福祉の歴史			講義	非常勤講師
14	2	これまでの振り返り			講義	非常勤講師
15	2	まとめと終了試験			試験	非常勤講師
評価方法		筆記試験・レポートなどの提出・受講態度等により評価する。				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度 (3) 社会保障・社会福祉 医学書院 看護行政研究会監修：看護六法 新日本法規				
参考文献		国民衛生の動向 厚生労働省統計協会				
備考						

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	勤労者と医療概説		学年時期	3年 前期		
担当講師 (実務経験)	1非常勤講師(労災病院事務職員)					
	2非常勤講師(産保センター保健師)					
	3非常勤講師(産保センター職員)					
科目目標	労災病院の理念、役割機能を理解し、いずれ組織の一員となる自覚を養う。現代社会における勤労者を取り巻く環境について理解できる。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	独立行政法人 労働者健康安全機構の役割・目的 社会における労災病院の位置づけ	講義	1		
2	2	労災病院における勤労者医療と看護	講義	1		
3	2	労働衛生(産業保健)の理解 産業衛生の歴史 労働者の健康障害	講義	2		
4	2	職業性疾病 作業関連疾患 職業性疾病の予防	講義	2		
5	2	労働者のメンタルヘルス 過重労働による健康障害(過労死)対策 女性労働者の健康管理 THP(トータルヘルスプロモーションプラン)	講義	2		
6	2	労働衛生行政 労働衛生行政の組織 労働衛生関係法規と労働衛生の展開	講義	3		
7	2	わが国の労働衛生の現状(健康調査結果、労働災害・職業性疾病の状況)	講義	3		
8	1	終了試験	試験	1・2・3		
評価方法		終了試験の成績(100点満点)で評価する				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		勤労者医療に関する看護プロジェクト編著 勤労者医療概論 労働者健康安全機構				
		労働衛生のしおり 中央労働災害防止協会				
参考文献						
備考		労働者健康安全機構が実際に行っていることを紹介しながら、今後就職する労災病院の果たす役割についてイメージできるようにする				

分野	専門基礎分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	生命と倫理		学年時期	2年次前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師(大学教授)					
科目目標	現代社会が直面している倫理的な諸問題を取り上げ、その問題に対して人間としてどのように関わるか学ぶ。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	生命倫理、看護倫理の歴史、重要概念について①			講義	非常勤講師
2	2	生命倫理、看護倫理の歴史、重要概念について② 臨床倫理症例分析			講義	非常勤講師
3	2	安楽死に関するディベート			講義	非常勤講師
4	2	看護倫理原則			講義	非常勤講師
5	2	看護倫理、重要概念、看護倫理分析法			講義	非常勤講師
6	2	事例分析、発表			講義	非常勤講師
7	2	日々の看護における人権尊厳の尊重 専門職としての倫理			講義	非常勤講師
8	1	終了試験			試験	
評価方法		筆記試験の成績で評価する				
評価基準		60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト		講師の準備した資料				
参考文献						
備考		集中講義の予定				